

「いらない」と言われた子たち

3D プリンタを利用したインсталレーション

コンセプト

学生生活の苦い経験（いじめた、いじめられた）を追体験→救済

ターゲット

- ・学生生活中の人
- ・学生生活を終えて間もない人（10代～20代）
→この人達に作品を触れて考えてもらいたい

体験に使用する小道具を CAD で作成し、造型機で出力
→大量に同じ形のものを作成する事が出来る

今回は椅子 8 脚、人形 16 体を使用

システム

Max6 gainer 磁気センサー 磁石

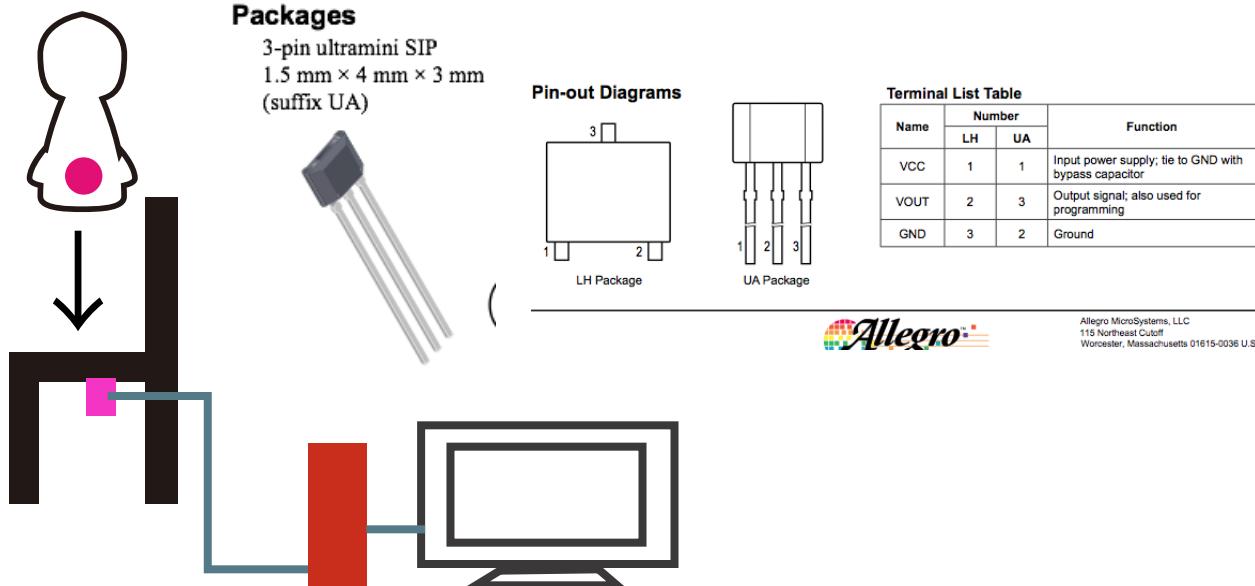
当初はスイッチを使用予定だったが、
磁気センサーが極性を判断出来ると分かったためスイッチは無しに。



人形に磁石を入れ 椅子に座らせ磁気を感知 gainer を経由し

MAX6

Max6 (パソコン) へ



入力は全てアナログで、今回は geinar を一つ使用、8力所に磁気センサーを設置した

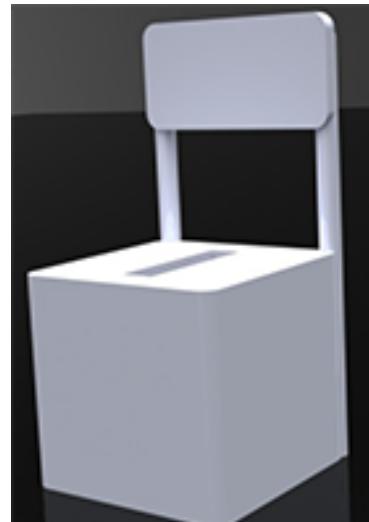
モデリング作業

Solid works でのモデリング

椅子の場合



当初目指していたもの



組み込む部品を隠そうとした結果

メディア造形総合演習Ⅰ



モデリング作業



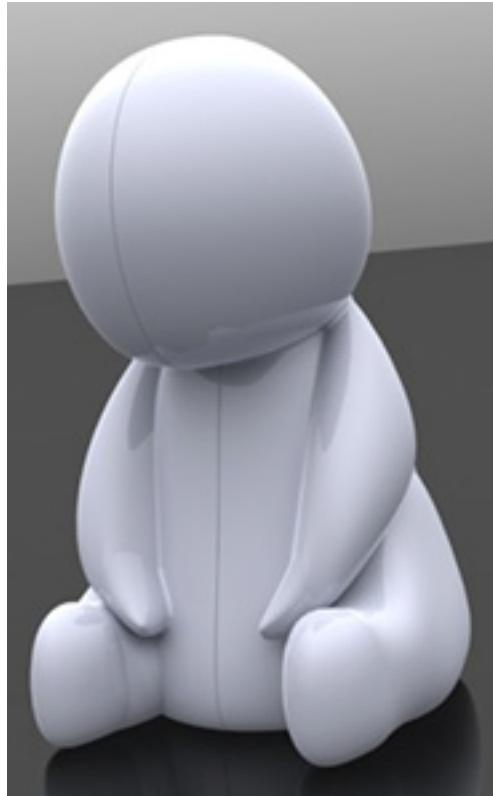
隠す必要のある部品が少なくなったため目標に近い造形に

メディア造形総合演習Ⅰ

人形の場合



モデリング作業



磁石を仕込むため真ん中が割れる構造を目指す

プログラミング作業

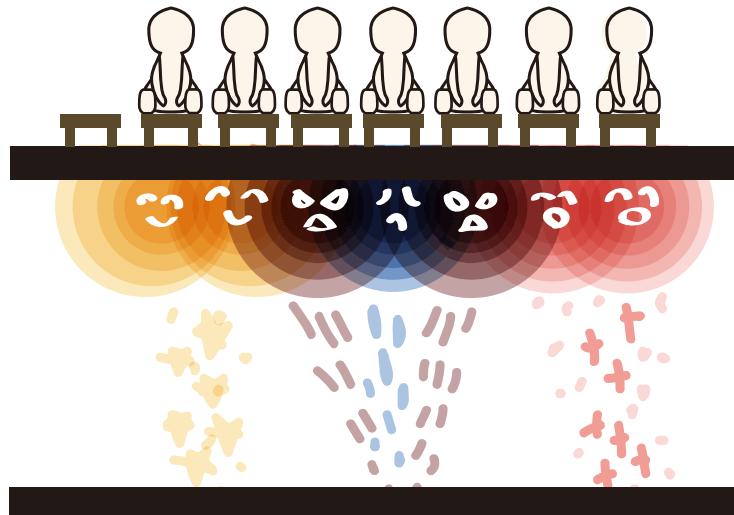
今回目指すのは人形を置いた椅子の真下の画面での変化を見せること

→その際、両隣の変化も反応の一部に加える

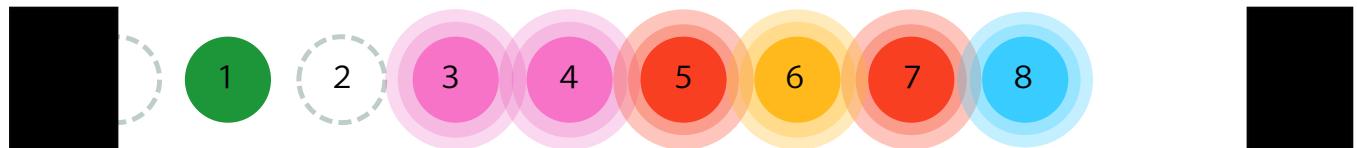
→用意せねばならない分岐が
N極 S極 反応なし × 8つの椅子の反応

$$= 264627$$

の分岐が必要



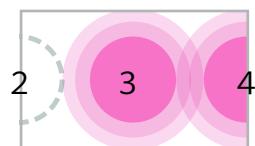
▲今回目指すもの



8つ並んだ状態のパターンをひたすらつくるともの凄い数になるので



このように分割して

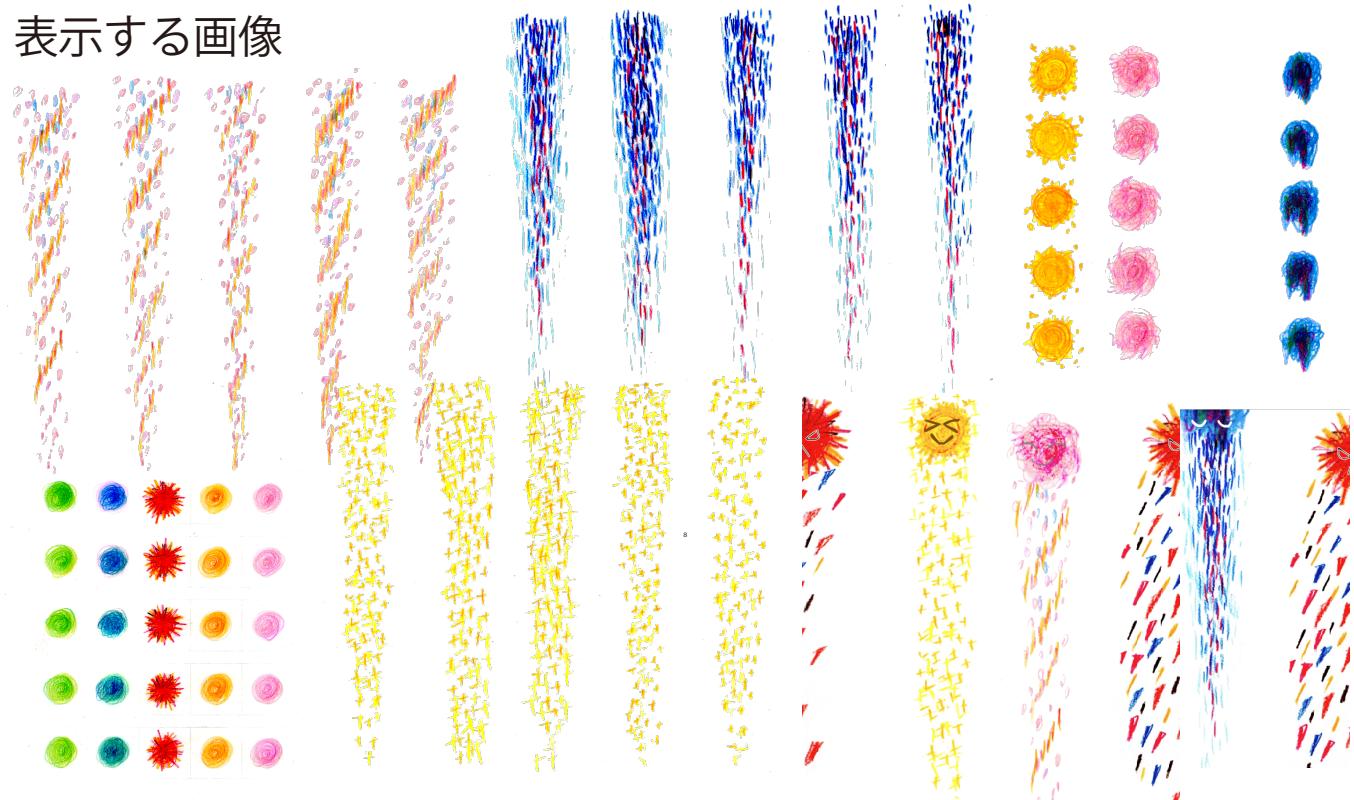


用意する画像（動画）はこのパターンを基礎として作成する

→ そうすると分岐は約 100 以下になる。

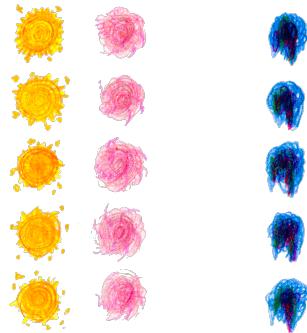
メディア造形総合演習Ⅰ

表示する画像



手描きティストのものを基礎とした動画を使用

プログラミング作業



メディア造形総合演習Ⅰ

それでは実際に体験をしてみてください

ご清聴ありがとうございました